

昭和21年7月10日第3種郵便物認可

# 県の高校照明コンクール

# 田辺工業の16人入賞



県内工業系高校の生徒が出品した県の第44回「照明コンクール大会」で、田辺工業から16人の計10作品が入賞した。

県高校教育研究会工業部会と県産業教育振興会工業教育部が主催。アイデア・デザインの部と製作の部があり、部門別に金、銀、銅の各賞と企業が選ぶ特別賞を決めた。アイデア・デザインの部には97点の応募があり、金賞8点、銀賞10点、銅賞14点が選ばれた。田辺工業からは、阪

△ 照明コンクールで入賞した生徒

本天吾君(機械科2年)と川口瑞貴君(同3年)が金賞を獲得した。

阪本君はボール状で壁や天井などに投げると、粘着力の高い発光液体が出て辺りを照らす簡易照明を発案。「災害時に使うことを想定して考えた。金賞を取ったことをモチベーションにこれからも頑張りたい」と喜んだ。

川口君は災害時に携帯電話を充電でき、避難用の懐中電灯を取り出せる太陽光発電の外灯を考えた。受賞について「昨年の台風をきっかけに発案した。自分の考えたものが認められて、とてもうれしい」と話した。

銀賞には若本恵美さん(電気電子科1年)、門脇俊樹君(機械科3年)、銅賞には鳴川琴稀君(電気電子科2年)、川井大空君(機械科1年)、栗林世羅君(同2年)の作品が選ばれた。

特別賞は阪本君がパナソニック賞、川口君がタカシヨウデジタル賞を受賞した。

製作の部には23作品の応募があり、金賞1点、銀賞2点、

銅賞4点が選ばれた。田辺工業では、古屋智大君と森山一稀君(以上、機械科3年)のチームが金賞を受賞した。

2人はさまざまな色の発光ダイオード(LED)ライトを使い、光の反射を利用して光り方に興行きを持たせた照明を製作。森山君は「金賞を頂けてうれしい。暗い部屋だといろんな色の照明が目立ち、楽しい感じになると思っ作った」と話した。

銅賞には大野秀弥君、樫山翔万君、野澤慶将君、峯上旭君(以上、電気電子科3年)のチームと、楠川魁都君、土山敏技君、都築勇貴君(同)のチームが入った。

特別賞は古屋君と森山君のチームが朝陽賞、楠川君、土山君、都築君のチームがパナソニック賞に選ばれた。